

クイックガイド



★組立にはプラスのドライバー、17/12mmボックスレンチ、17/13mmスパナが必要です。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に
本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。

詳細は
カラー版のWEB取説
をご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。



安全上の注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は「死亡または重症を負う恐れがある」内容です。



この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

!警告（製品に係る安全事項）



禁止

本製品は、空気を圧縮するコンプレッサーです。指定された用途以外には使用しないでください。

交流100V以外は使用しないでください。

改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。

濡れた手で電源プラグの抜き挿しはしないでください。感電の恐れがあります。

雨や水に濡れる場所では、使用しないでください。

日光が当たる場所では使用しないでください。

木クズやゴミ、ほこりの多い場所では使用しないでください。

揮発性可燃物、腐蝕ガスのある場所では使用しないでください。

操作中は、子供を近づけないでください。操作者以外、本製品へ近づけないでください。怪我の恐れがあります。



強制

本製品に接続するエアホースやエアツールは、必ず使用圧力の範囲内で使用してください。

電源は、必ず交流単相100V、定格15Aのコンセントを使用してください。

使用しない時、点検、清掃時は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグの抜き挿しは、プラグを持って行ってください。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に挿込んでください。

使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。

破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になることがあります。

⚠警告 (製品に係る安全事項)

禁止	エアタンクに空気を充填したまま、長時間、直射日光に当たる、高温になる場所に置かないでください。	強制	
	エアタンク内の圧縮空気を抜く時は、排出口に物を置いたり、身体を近づけたりしないでください。		
	圧縮空気を人や動物に向けて吹かないでください。		
	エアタンクに圧縮空気を充填したまま、エアホースを取り外さないでください。		可動部分の位置および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
	運転中/使用直後は、モーター/シリンダー部及び配管部は非常に高温になっていますので、手を触れないでください。		
	身体の調子が悪い時は、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。		

⚠注意 (製品に係る安全事項)

禁止	本製品で使用するコンセントを他の機器と一緒に使用しないでください。	強制	本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、理解したうえで正しく取扱ってください。
	周囲温度が、5°C~40°Cの以外の場所で使用しないでください。		水平で安定している所でご使用してください。
	湿度が90%以上（25°C時）の場所で使用しないでください。		運転中は、エアフィルタを必ず取付けてください。
			延長コードを使用する場合は、2芯コードで、公称断面積3mm ² 以内のコードを30m以下で全て引き伸ばし、電源を入れた際に電圧計が100V前後を表示しているか確認してください。電圧が低い場合はご使用いただけません。
			ご使用後は、ドレインコックを開き、エアタンク内の圧縮空気、水を排出してください。
			ご使用後は、エアツール・エアホース内の空気を排出してください。
			圧縮空気に水分が混入する場合があります、塗装作業を行う場合は、ウォーターセバレーターを取付けてください。
			作業に適した服装を心がけてください。防護めがね、防塵マスク、防音保護具を着用してください。
			子供の手の届かない安全で、乾燥した場所に保管してください。
			部品交換は、純正部品を使用してください。
			定期点検整備を行ってください。

設置場所について

⚠ 注意 (製品に係る安全事項)



禁止

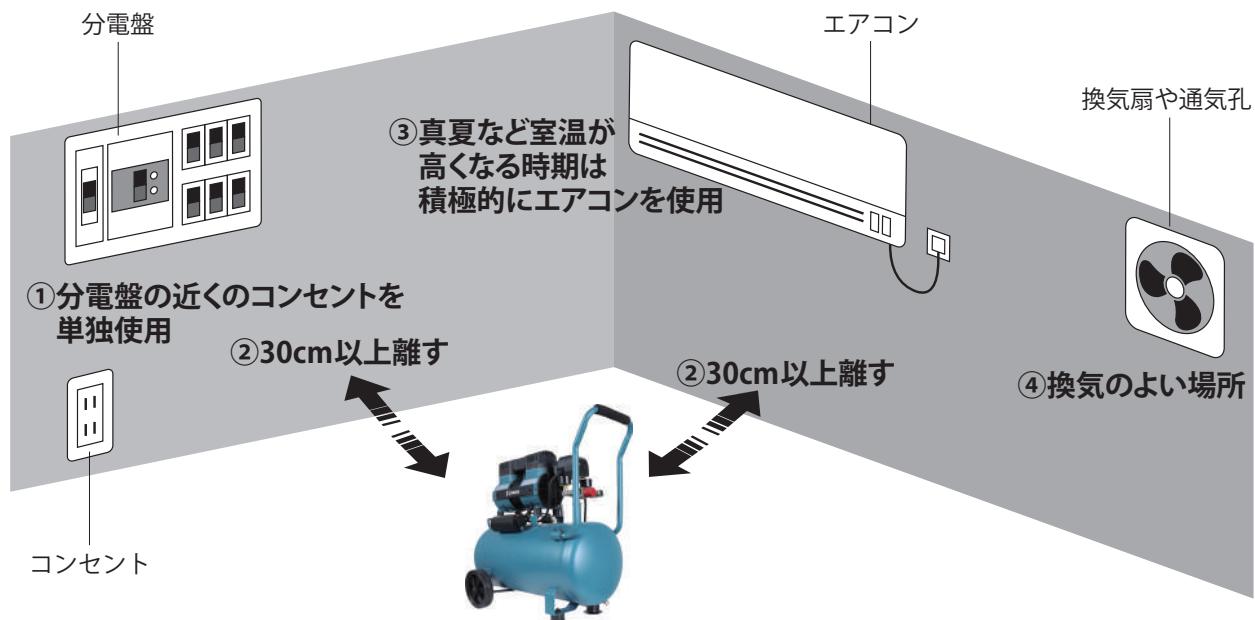
ガソリン、軽油、灯油、シンナー等、可燃性・揮発性の高い液体がある場所に設置しないでください。

可燃性・腐食性ガスが発生している場所に設置しないでください。

水のかかる恐れのある場所や多湿となる恐れのある場所に設置しないでください。

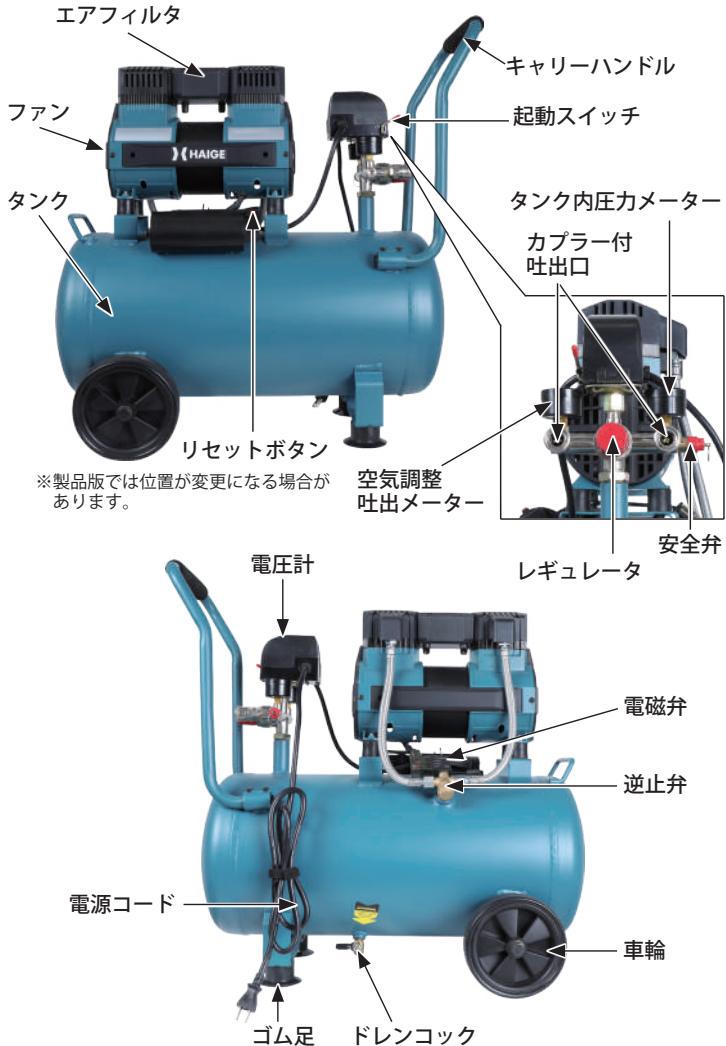
直射日光の当たるところや暖房器具や温度上昇する機器の近くに設置しないでください。

塵やホコリがある場所に設置しないでください。



各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧

- ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
- 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
- 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

⚠️ 警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体



B. キャリーハンドル・取付けネジ×4



C. 車輪・取付けボルト/ナット×2



D. ゴム足・取付けボルト/ナット×2



※上記はプロトタイプのため本製品とは部品の形状、内容物が変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。

主要諸元

モデル名	HG-1300RB-30	HG-1300RB-39
電源 (AC電源)	交流100V 50/60Hz	
出力	1100W	
タンク容量	鉄製タンク 約30L	鉄製タンク 約39L
最高圧力	0.8MPa	
再起動圧力	0.6MPa	
吐出空気量	72L/min (50Hz) 84L/min (60Hz)	
タンク満タンまでの充填時間	約162秒	約240秒
モーター	ブラシレスモーター	
オイル	オイルレス	
回転数	2,800min ⁻¹	
連続使用時間	約60分 (※使用環境による)	
騒音 (※1)	約68dB	
カプラー接続口	1/4インチ	
吐出口数	2個 (カプラー付き)	
コード長さ	2.0m	

※1 本体から7mの距離で計測

◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

組立て

※写真はプロトタイプのため本製品とは部品の形状、取付方法が変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。

車輪の取付け

- 1 本体を平らな場所に横に倒して、置きます。



- 2** タンク下の車輪取付フレームの穴にボルトを通した車輪を通してます。



- 3** 内側からナットを取付けます。



- 4** 内側のナットを17mmのスパナで固定しながら、外側のボルトを17mmのボックスレンチで締付けます。



- 5** 反対側も同様に行います。



ゴム足の取付け

- 1** ゴム足に仮留めしているナットを一旦取り外し、取付フレームの穴にボルトを通してます。

- 2** 内側からナットを取り付け、13mmのスパナで固定しながら、外側のボルトを12mmのボックスレンチで締付けます。反対側も同様に取付けます。



キャリーハンドルの取付け

キャリーハンドルは本体を移動する際に便利です。

- 1** ハンドルを取付穴に挿込みます。



- 2** 付属のネジを仮留めし、お好みの位置を決めたら、ネジをプラスドライバーで締付けます。



エアホースの取付け

△注意

エアホースの取付けはタンク内にエアがない状態で行ってください。エアが残っていると、カプラーのリングをスライドした時に勢いよくエアが噴出されます。

- 1** エアホースをしっかりと保持しながらカプラーに真っ直ぐ挿込みます。



- 2** エアホース側を引っ張り、抜けないことを確認します。

エアホースの取外し

△注意

- 電源「OFF」の状態で行ってください。
- エアホースを抜く場合は、ホース内のエアを抜いてから行ってください。エアを抜かないで取外すと、ホースが勢いよく飛び出し危険です。

- 1** エアホースを抜く場合は、タンク下部にあるドレンコックをゆっくり開きエアを抜きます。



- 2** エアホースをしっかりと保持しながらカプラーのリングをスライドさせるとエアホースが外れます。



このとき、ホース内のエアが完全に抜けきらない状態で行うと、エアホースが勢いよく外れる場合がありますので、完全にエアを抜いてください。



運転操作の仕方

⚠️ 警告

濡れた手で電源プラグをコンセントに挿込まなでください。また濡れた場所で使用しないでください。感電の恐れがあります。

⚠️ 注意

- ・ 使用後は、必ず起動スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 動作中にコンセントを引き抜いて停止させないでください。故障の原因になります。
- ・ ネジの緩み、腐蝕、破損がないか、確認してください。緩みがある場合は締直してください。
- ・ 連続で使用した場合は、同程度の時間休ませてください。
- ・ 本機にはモーター過負荷保護システムが内蔵されています。低電圧または過負荷などで、保護システムが作動して本機が停止した時は、起動スイッチを「OFF」にし、モーターが冷えるまでしばらくお待ちください。モーターが冷えた後、リセットボタンを押してから起動スイッチを「ON」にして再始動することができます。

始動手順

本製品を使用する際は、直射日光の当たらない日陰で風通しの良いところで作業を行ってください。

⚠️ 注意

- ・ 延長コードを使用する場合は、2芯コードで、公称断面積3mm²以内のコードを30m以下で全て引き伸ばし、電源を入れた際に電圧計が100V前後を表示しているか確認してください。電圧が低い場合はご使用いただけません。
- ・ 延長コードを点検し、損傷している場合には使用しないでください。
- ・ 本製品で使用するコンセントを他の機器と一緒に使用しないでください。
- ・ 周囲温度が、40°C以上になる場所では使用しないでください。

- 1** 使用するエアツール類を吐出口に取付けます。

- 2** ドレンコックが閉まっていない場合は閉めます。



- 3** 電源プラグをコンセントに挿込みます。コンセントは単独でご使用ください。

- 4** 起動スイッチをAUTO (ON) 側に倒すと、エアの充填が開始され、満充填になった時点で停止します。



- 5** 初めてご使用になる場合や寒い時期は、エアを満充填したら、5分程度エアツール等でエアを吐出し続けるかドレンコックを緩めて吐出し続けて暖機運転をします。

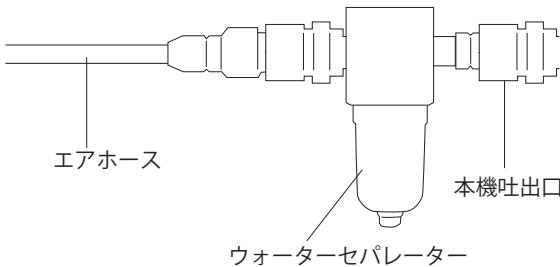
⚠️ 注意

圧力設定後しばらく放置すると、徐々に減圧される場合がありますが、正常な現象につき、故障ではありません。

- 6** 圧力が0.6MPa程度に低下すると再起動し、エアの再充填を開始します。

エアツールから水が出る

空気中には水分が含まれており、その空気をタンクに貯め、吐出すると水が吹き出ます。これは正常な現象です。これを防ぐには、市販のウォーターセパレーターを使用することで水分を除去できます。



停止手順

- 1 起動スイッチをSTOP (OFF) 側に倒して、停止します。



- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。

△注意

電源コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。

作業を終了する場合

△注意

- ・ 使用後は必ずエアホースを本体から取外してください。怠ると、逆止弁に水分が付着しサビが出て使用できなくなります。
- ・ 停止直後の金属部は熱くなっていますので、やけどのご注意ください。



- 1 起動スイッチをSTOP (OFF) 側に倒して、停止します。



- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。

- 3 エアホース内のエアを抜きます。

※エアを抜かないと、外した時にホースが勢いよく飛び出し危険です。(抜き方は組立て「エアホースの取外し」参照)

- 4 タンク下部にあるドレンコックをゆっくり開き、タンク内の圧縮空気を放出すると同時に、水抜きを行います。



この水抜きは、毎回行ってください。

※タンクを傾けて水を出し切ってください。



△注意

水抜きしないとタンク内部にサビが発生し、強度が保たなくなり、故障の原因になります。

- 5 水抜き終了後は、ドレンコックを閉じます。

レギュレータの使用方法

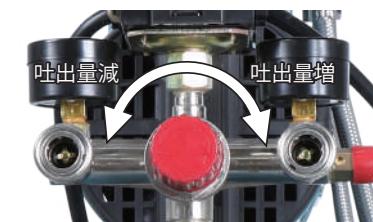
本機にはレギュレータが付いており、左側の空気の吐出量を調整することができます。ダイヤルを回すことで圧力を高くしたり低くしたりします。



- 1 右のメーターはタンク内の圧力を表示します。※メーターの目盛りの「0.8」は0.8MPa(メガパスカル)となります。写真は、0.73MPaあたりを指しています。



- 2 左のメーターは空気吐出量を表示します。レギュレータを回すことで吐出量を調整できます。



※時計回りに回すと、吐出量が増えて、最大まで回すと全開になります。反時計回りに回すと、吐出量が減って、最大まで回すと吐出しなくなります。

電磁弁について

一定以上の圧力がかかり、モーターが停止した時にシリンダー内の空気が排出されます。



安全弁について

安全弁はタンク内やホース内の圧力の上がりすぎによる破裂を防ぐために、一定以上の圧力になると自動で圧縮空気を排出します。(最大設定圧力0.8MPa)



⚠ 注意

安全弁は抜かないでください。破損する恐れがあります。

電圧について

電圧は100V付近を維持できる電源環境でご使用ください。90V以上でも使用はできますが充填時間が長くなります。



異常時のリセットについて

不安定な電圧や周囲の高い温度により本機が過熱するとモーターを保護するために自動的に電源をオフになります。再開するにはリセットボタンを押す必要があります。
リセットボタンの位置は製品版と異なります。



再開するには、以下の手順を行ってください。

1 起動スイッチをSTOP (OFF) 側に倒して、停止します。



2 リセットボタンを押します。



3 起動スイッチをAUTO (ON) 側に倒して、始動します。



点検・整備の仕方

お買い求めいただきました製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検を実施してください。

⚠ 注意

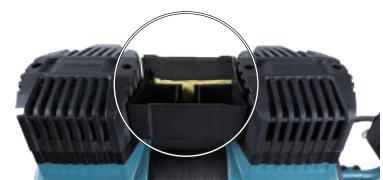
- 点検整備をする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 作業中に始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- 点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

エアフィルタの清掃・交換

1 フィルタカバーをプラスドライバーで取外します。



2 黒いエアフィルタと紙フィルタを取り外します。



3 紙フィルタとエアフィルタの汚れをエアブロー等で吹き飛ばします。エアフィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りのぬるま湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。



紙フィルタ エアフィルタ

紙フィルタやエアフィルタが破損したり、汚れが取れない場合は、交換が必要になります。

4 取外しと反対の手順で取付けます。

お手入れの仕方

作業後はお手入れをすることで、本製品は永くお使いいただけます。

水を抜く

⚠ 注意

作業後は毎回必ずエアホース内のエアを抜き、エアホースを取り外してください。また、タンク内の水抜きをしてください。水抜きをしないと、故障の原因になります。

1 エアツールからホース内のエアを抜きます。

2 エアホースを取り外します。

3 タンク下部にあるドレンコックをゆっくり開き、タンク内の圧縮空気を放出すると同時に、水抜きを行います。※タンクを傾けて水を出し切ってください。



清掃

●本体が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

●アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。故障・破損の原因になります。

長期間使用しない時

長期間使用しない場合は、次の手順に従って保管してください。

1 ドレンコックを開き、エアタンク内の水を抜きます。

2 電源プラグをコンセントに挿込みます。

3 起動スイッチをAUTO(ON)側に倒すと始動します。



4 タンク内が乾燥するまで5分以上運転します。

5 起動スイッチをSTOP(OFF)側に倒して停止します。

6 ドレンコックを閉じます。

7 電源プラグをコンセントから抜きます。

8 全体の汚れを拭取り、ネジや部品の破損、腐食、緩みがないことを確認してください。

9 メンテナンス終了後は汚れが付着しないようカバーなどをかぶせて、湿気の少ない場所で保管してください。

MEMO

MEMO

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- 保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- 本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- 本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）
- (11) 機能上影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スponジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干涉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリ、点火プラグ等）
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺い、手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- 動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- 部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- 仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- 仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- 無在庫転売者（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて ■ 1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
3. 保証期間（1年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。



〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガー オフィシャル | 検索
<https://haige.jp/>